

## 痛みの治療・ケアに対応できる人材を育成する

### 緩和ケアインテンシブコース概要

研修の専門分野	がん疼痛制御（緩和ケア）
コース概要	がん患者の緩和ケアに必要である、身体症状ならびに精神症状に対処する治療法の習得を目的としている。そのため、緩和ケアチームに参加して、これらの諸症状の病態に関する専門的な知識と、それに対処する治療法を実践する能力を習得する。さらに本コースの特色である、がん疼痛の治療に関しては、専門的な疼痛制御科学の知識と治療法をペインクリニック部において習得し、難治性のがん疼痛に対しても、専門的な視点から病態を診断して、高度な疼痛制御法が実践できる能力を習得する。さらに、精神症状への対処については、精神腫瘍学を通じて、多面的な視点から対応する能力を習得する。そして、緩和ケアチームでの活動を通じて、各職種との連携によるチーム医療による緩和ケアの実践を習得する。
修了要件 及び履修方法	緩和ケアチームに参加し、がん患者における様々な症状に対して、適切な診断と治療計画を実践する能力を習得する。特にがん疼痛に関しては、オピオイドを主とした鎮痛薬の知識と適切な投与の実施、難治性がん疼痛症候群に対する侵襲的疼痛治療の適応や手技に対する理解を深める。
修練内容	[下記（予定）を履修し、必修単位数を習得したと見做された者を修了者とする] ◆講義：腫瘍学Ⅰ 基盤講義（医療現場・学際領域）～腫瘍学Ⅱ 横断講義（予防・研究開発） ※オンライン学習（e-learning） ※講義の日程や内容は変更になる場合があります。 ◆実習：210時間